

## ～西浦みかんブランドの維持につなげる基盤整備～

### 西浦みかん土地改良区

#### 畑地帯総合整備事業「西浦みかん江梨地区」 ほか4地区

#### 取組のポイント

- ①生産組織であった西浦柑橘出荷組合等が基盤整備を強力的に推進するため、西浦みかん土地改良区へ発展し、事業を実施。
- ②西浦みかん産地の維持、発展を目指して地域をリードし、寿太郎の全国一の産地化を実現。
- ③基盤整備（農道、用水施設等）による作業の効率化。
- ④農作業の徹底と貯蔵技術の向上によって寿太郎温州の高品質・高付加価値化を実現。

#### 取組の経緯と課題

- 急傾斜園地で農道幅員が狭小かつ用水施設が未整備で作業効率が低い。寿太郎は栽培管理で特に労力を要する。
- 農業者の高齢化、後継者不足等により、産地規模の縮小や荒廃農地拡大が懸念。

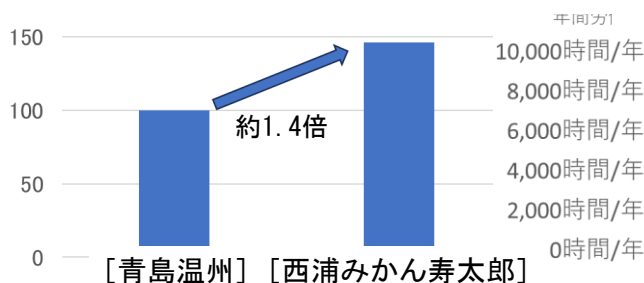
#### 課題への対応

- 西浦柑橘出荷組合等が西浦みかん土地改良区へと発展することで、組織力や発信力を高めつつ地域をリードし、西浦地域全体の農道及び用水施設整備を実施。
- 農道整備残土を活用した区画整理（農地の平坦化）を実施。
- 寿太郎の栽培・貯蔵技術の向上に取り組むとともに、改植事業等による普及拡大を推進。

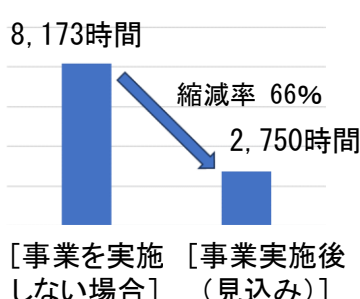
#### 取組の成果

- 基盤整備により作業効率が大幅に改善。
  - 基本作業（剪定等）の徹底による高品質安定生産と貯蔵技術の向上に取り組み、青島温州に比べて西浦みかん寿太郎は4割高で取引。
  - 冷風貯蔵庫を利用して高品質の寿太郎を貯蔵した「寿太郎プレミアムゴールド」等の高付加価値化商品の販売。
  - 寿太郎の全国一の産地化と西浦みかん産地の維持・発展。
- ※「西浦みかん寿太郎」は地理的表示保護制度(GI)に登録(R2.11)

「青島」を100とした場合の「寿太郎」の価格

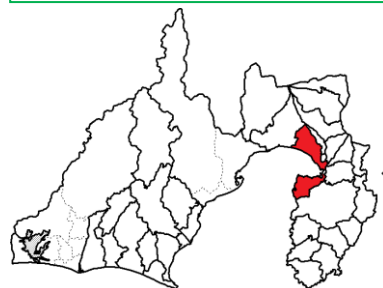


年間労働時間の増減  
(参考: 足保久料地区)



#### 法人の概要

代表：加藤 鋼二  
設立年：令和元年  
農家数：436人  
主要作物：温州みかん



静岡県沼津市

事業前



幅員2.2m

事業後



幅員5.5m

農道の整備状況



寿太郎プレミアムゴールド  
(しずおか食セレクション認定)

#### 事業概要

地区名：西浦みかん江梨地区  
ほか4地区  
事業種：畑地帯総合整備事業  
関係市町：静岡県沼津市  
受益面積：611.1ha（4地区計）  
工期：平成23年度  
～令和11年度  
事業目的：総合整備  
主要工事：幹線農道 16,029m  
支線農道 23,044m  
水路土工 9,639m